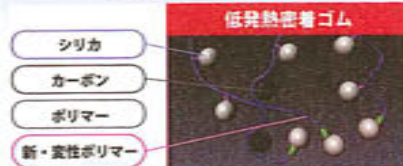


NEWIL・マン4の 進化した4つのポイント!

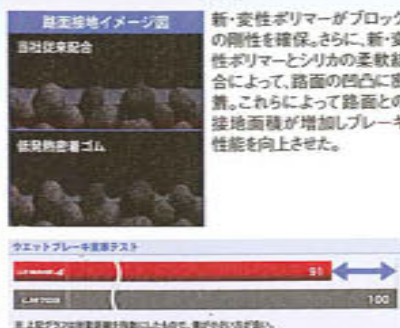
騒音エネルギー13%低減



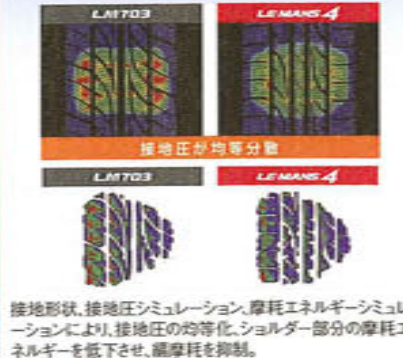
燃費3.8%向上



ウェットブレーキ性能 9%向上



ライフ17%向上



2種類のトレッドパターンを採用
軽自動車専用とスタンダードの2種類のトレッドパターンを採用し、幅広い車種に対応している。

参考純正適合サイズ	タイヤサイズ	外径	標準リム幅
ル・マン4	215/50R17	649	7
	205/60R16	651	6
SPスポーツ MAXX TT	215/50ZR17	647	7
	205/60ZR16	653	6
ディレッツァDZ101	215/50R17	645	7

上質な走りorスポーティな走りにはこのタイヤ

SP SPORT MAXX TT

最先端テクノロジーを採用



DIREZZA DZ101

快適性の高いスポーツタイヤ



インは左右非対称で、高速安定性とドライでのグリップ性能とウェットでの排水性能を確保している。また高速走行時やコーナリング時に広い接地面積を確保することで、高い操縦安定性も実現している。「ディレッツァDZ101」は、専用コンパウンド採用のスポーツ

タイヤ。低温時でもグリップの立ち上がり早く、優れたブレーキ性能を発揮する。テストではドライとウェット両面で、ダンロップの「フォーミュラFM901」を上回る高いブレーキ性能を記録。また「ハイブリッドバンド」の採用により、「グリーン」というスポ

ーツタイヤにありがちな不快な低周波ノイズも抑制したというから、EV走行での走りに期待が持てる。プリウスαには低燃費タイヤがふさわしい気がするが、プレミアムタイヤやスポーツタイヤを履くことで、従来とは違う別の走り

ハイブリッド車の良さをさらに引き出してくれる。プリウスαが純正で履くタイヤサイズは、215/50R17と205/60R16の2種類。ダンロップ推薦の3タイプのタイヤを紹介しよう。まずは「ル・マン4」。これはダンロップが特許を持つ、特殊吸音スポンジを搭載した低燃費タイヤで、モデル名の「4」とは4つの特徴を指す。「騒音エネ

ギーの低減(13%)」「燃費の向上(3.8%)」「ウェットブレーキ性能の向上(9%)」そして「ライフの向上(17%)」である。それぞれの数値は、ダンロップの従来品「LM703」との比較によるもの。騒音の低減や燃費の向上は、ハイブリッド車であるプリウスαが最も好むところでもあり、EV走行ではより静かな走りもたらされ、また転がり抵抗の少なさが燃費の良さをさらに向上させてくれるに違いない。省燃費タイ

ヤは転がり抵抗が低い反面、グリップ性能が悪いのではという心配もル・マン4には全く不要。路面との密着力を高める「低発熱密着ゴム」の採用で、ウェットブレーキ性能も見事に向上している。次に「SPスポーツMAXX-TT」。ダンロップの最先端テクノロジーをフル投入したモデルで、輸入車の性能を高度に引き出すハイパフォーマンスタイヤということだが、プリウスαの純正タイヤと同サイズの設定はある。パタ

問い合わせ ● 住友ゴム工業株式会社
TEL ● 0120-39-2788
URL ● <http://tyre.dunlop.co.jp/>

ル・マン4が持つタイヤ特性は
ハイブリッド車が好む性能

DUNLOP LE MANS 4
SP SPORT MAXX TT
DIREZZA DZ101



ダンロップ ル・マン4
エスピースポーツ マックスティーティー
ディレッツァ ディゼットイチマルイチ

燃費性能の良いハイブリッド車でもタイヤ選びは重要。ダンロップから燃費&快適性に優れたプリウスαにピッタリなタイヤを紹介しよう。